

科目名(単元名) 看護学概論		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 15時間	担当者  森 明広	
テーマと授業目標 ・看護の主要概念である「看護」「人間」「健康」「環境」について理解し、看護の本質を学ぶ。 看護の対象者となる人々野健康について理解し、その人をとりまく家族の状況も含めて看護について考察する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	看護とは プラインドウオーク(語源)	講義
2	2	森	看護師は何をするのか ナイチンゲールの業績	講義
3	2	森	看護の役割と機能 看護覚え書き(グループワーク)	講義
4	2	森	看護の対象について	講義
5	2	森	看護覚え書き(グループワーク発表)	講義
6	2	森	看護覚え書き(グループワーク発表)	講義
7	2	森	国民の健康づくり 衛生の動向	講義・演習
8	1	森	病と障害と生活(清水 哲さんのVTR)	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(50点)		
受講上の注意		看護の対象としての人間の健康を把握し、対象がどのような看護を必要としているのか少しでもわかることができればと考えている。 看護は科学的根拠に基づいていることがわかる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 看護覚え書・看護の基本となるもの		現代社 日本看護協会出版		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 看護学概論	配当時期 1年次前期		担当者  藤原 綾子	
	単位数 1単位(30時間)	時間数 15時間		
テーマと授業目標 ・看護職の成立や養成制度について学ぶことができる ・看護倫理について考え、理解することができる ・看護におけるサービスやチーム医療について理解することができる ・医療事故について学ぶことができる				
	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	1	藤原	ガイダンス 第5章 看護における倫理 現代社会と倫理 日本看護協会の「看護職の倫理綱領」について	講義
2	2	藤原	看護における倫理 事例をグループワーク 過去の事例紹介	講義
3	2	藤原	第4章 職業としての看護	講義
4	2	藤原	看護職の資格 養成制度 就業状況	講義
5	2	藤原	看護職者の継続教育とキャリア開発 看護職の養成制度の課題	講義
6	2	藤原	第6章 サービスとしての看護 看護サービスの提供の場	講義
7	2	藤原	看護をめぐる制度と政策 看護サービスの管理	講義
8	2	藤原	広がる看護の活動領域	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験:(50点/100点中)		
受講上の注意		・事前に教科書に目を通して予習をしておいてください ・重要な言葉や意味をしっかりと理解して覚えていきましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他( )				

科目名(単元名) 共通基本技術論 I		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(15時間) 時間数 15時間	担当者  小林 幸路	
テーマと授業目標 ・コミュニケーションの意義と目的、構成要素と成立過程を理解する ・関係構築のためのコミュニケーションの基本を理解する ・効果的なコミュニケーションの実際を理解する ・看護実践するために必要な身だしなみができる ・感染予防対策について理解し必要な手洗い、マスク着用について実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	・技術とは何か 看護技術の特徴 看護技術の発展と習得のために ・感染防止の技術 感染成立の条件・感染予防	講義
2	2	小林	コミュニケーションの意義と目的 ①コミュニケーションとは ②看護・医療におけるコミュニケーション ③看護医療におけるコミュニケーションの重要性	講義
3	2	小林	手洗いの演習 (教室 課題学習)	演習
4	2	小林	ディベート	講義
5	2	小林	・コミュニケーションの構成要素と成立過程 ・関係構築のためのコミュニケーションの基本	講義
6	2	小林	効果的なコミュニケーションの実際 ・傾聴の技術 ・ オープンクローズドクエスチョン ・ 共感	講義
7	2	小林	コミュニケーション障害への対応 ①コミュニケーションに障害のある人の特徴 ②言語的コミュニケーションに必要な身体機能 ③コミュニケーション障害のある人への対応	講義
8	1	小林	ビニールエプロン 手袋の着脱 コミュニケーション まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		基本的な技術から医療従事者としてのありかたを学ぶ。日常の自分自身のコミュニケーションの傾向を振り返り、医療従事者として改善すべきところを意識していく		
使用図書(テキスト)		図書名: 専門分野 基礎看護技術 I 出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		図書名: 医療者のためのコミュニケーション入門 出版元 精神看護出版		
使用予定の視聴覚機器		パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテフ その他 ( )		

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅱ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 14時間	担当者 藤田 和代	
テーマと授業目標 1.ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学。技術を実施できる 2.全体の観察、バイタルサインの観察、計測、系統別アセスメント、心理・社会状態のアセスメントといったヘルスアセスメントの実際について学ぶ 3.ヘルスアセスメントによって得られた結果を、実際のケアに結び付けていく態度を養う				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤田	ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントについて バイタルサイン・脈拍について	講義
2	2	藤田	血圧について	講義
3	2	藤田	呼吸・体温について	講義
4	2	藤田	意識について バイタルサイン測定 一連の流れについて	講義
5	2	藤田	バイタルサイン測定演習	講義・演習
6	2	藤田	バイタルサイン測定演習	講義・演習
7	2	藤田	演習のまとめ	講義
8	1	藤田	技術試験	試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		1) 学生便覧の「共通基本技術論Ⅱ」について確認しておくこと 2) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 3) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど、目的意識を持ち参加すること 4) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと 5) 演習時には身だしなみを整えて忘れ物をしないこと。身だしなみが整っていない場合は演習ができず欠課になります。また、演習は講義開始時までに更衣を済ませておかないと遅刻になるので注意してください <b>体温計・血圧計・聴診器・秒針付き時計が必要になります</b>		
使用図書(テキスト)		系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 出版元		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		図書名 看護が見える③フィジカルアセスメント 出版元		
使用予定の視聴覚機器		(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他( DVD )		



科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅱ	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 12時間	担当者 坂 沙佑美		
テーマと授業目標 1.ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学。技術を実施できる 2.全体の観察、バイタルサインの観察、計測、系統別アセスメント、心理・社会状態のアセスメントといったヘルスアセスメントの実際について学ぶ 3.ヘルスアセスメントによって得られた結果を、実際のケアに結び付けていく態度を養う				
<b>授業回数</b>	<b>時間</b>	<b>講師</b>	<b>授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)</b>	<b>授業方法</b>
1	2	坂	呼吸器のフィジカルアセスメント	講義
2	2	坂	循環器、乳房、腋窩のフィジカルアセスメント	講義
3	2	坂	腹部、筋・骨格系、神経系のフィジカルアセスメント	講義
4	2	坂	頭部と感覚器、外皮系のフィジカルアセスメント 心理社会状態のアセスメント	講義
5	4	坂	身体計測演習(フィジコ使用)	講義・演習
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
<b>評価方法</b>		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
<b>受講上の注意</b>		・教科書等の忘れ物はしないように気を付けてください ・演習時には身だしなみを整えて忘れ物をしないように気をつけてください ・体温計、血圧計、聴診器、秒針付き時計を使用します(使用時は事前にお知らせします) ・身だしなみが整っていない場合は演習ができず欠課になります ・また、演習は講義開始時までには更衣を済ませておかないと遅刻になるので注意してください ・授業中、演習中は私語をしない		
<b>使用図書(テキスト)</b>		出版元 系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院		
<b>参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)</b>		出版元 図書名 看護が見える③フィジカルアセスメント		
<b>使用予定の視聴覚機器</b> (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他( DVD )				

科目名(単元名) 生活援助技術論 I		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者  福田 都美恵	
テーマと授業目標  <b>活動・休息を整える援助技術を実施できる</b>				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	基本的活動の基礎知識(構えと体位) 体位: 仰臥位・側臥位・座位・ファアラ一位・腹臥位・膝胸位・碎石位・シムス位)	講義
2	2	福田	移動(体位変換・歩行・移乗・移送) 体位の復習 仰臥位→側臥位の体位変換(DVD)	講義
3	2	福田	体位変換(右→左、仰臥位→側臥位、上方へ)	講義・演習
4	2	福田	体位変換(仰臥位→長座位、長座位→端座位) 歩行介助	講義・演習
5	2	福田	仰臥位→車いす移乗 車椅子での移送(デモスト)	講義・演習
6	2	福田	仰臥位→車いす移乗(演習) 足浴 休息と睡眠 レム睡眠とノンレム睡眠 睡眠を促すケア	講義・演習
7	2	福田	杖歩行の介助	講義・演習
8	2	福田	ストレッチャー移送・移乗 ベッドからベッドへの移乗 留意点についてワーク	講義・演習
9	2	福田	ベッドからベッドへの移乗 ストレッチャー移送 左麻痺のある患者の車いす移乗	講義・演習
10	2	福田	左麻痺のある患者への移乗(動画視聴) 演習の振り返り ポジショニング	講義
11	2	福田	活動小テスト	講義・試験
12	2	福田	自動運転・他動運動の援助 足浴の演習方法について	講義
13	2	福田	温罨法・冷罨法	講義・演習
14	2	福田	足浴の演習(車いす座位で)	講義・演習
15	2	福田	ポジショニング(仰臥位から側臥位 仰臥位からファアラ一位)	講義・演習
評価方法		筆記試験(60点) 技術試験(40点)		
受講上の注意		1) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 2) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど 目的意識を持ち、参加すること 3) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと 4) 演習時に身だしなみがととのっていない場合や忘れ物がある場合など、欠課になることがあるので注意してください		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護講座 専門分野 I 看護技術 II 基礎看護学③		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 看護が見える①基礎看護技術				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他( DVD )				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅱ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者  小林 幸路	
テーマと授業目標 ・療養環境について理解し、その調整の技術を理解することができる ・対象者の安全・安楽・自立を考慮した環境調整について理解できる ・ベッドメイキングの基本技術を理解し、実施することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	ガイダンス 看護技術の根底をなすもの	講義
2	2	小林	第1章 環境調整技術	講義
3	2	小林	ベッドメイキング リネン交換 (DVD視聴)	講義
4	2	小林	ベッド及びベッド周囲の説明 シーツのたたみ方 (演習)	講義・演習
5	2	小林	マットレスパッド・下シーツ作成演習	講義・演習
6	2	小林	マットレスパッド・下シーツ・枕カバーまで作成演習	講義・演習
7	2	小林	臨床患者のリネン交換・手順書作成	講義
8	2	小林	手順書を見ながら臥床患者のリネン交換	講義・演習
9	2	小林	臥床患者のシーツ交換	講義・演習
10	2	小林	臥床患者のシーツ交換	講義・演習
11	2	小林	環境整備について 技術試験のオリエンテーション	講義
12	2	小林	環境整備	演習
13	2	小林	ベッドメイキング 演習	講義・演習
14	2	小林	臥床患者のシーツ交換 (技術試験)	試験
15	2	小林	臥床患者のシーツ交換 (技術試験)	講義
評価方法		筆記試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		1. 忘れ物のないように(授業プリント、教本、副読本) 2. 予習を行い効果的に授業を受けること 3. 演習では身だしなみを整えること 4. 演習開始時間に、身だしなみが整っていない場合は遅刻・欠席扱いとします 5. 実習室では私語を慎むこと 6. 自主的に技術練習すること 7. 講義演習には積極的に参加すること		
使用図書(テキスト)		図書名: 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 看護覚え書 F, ナイチンゲール 看護が見えるVol.1 基礎看護技術		出版元 医学書院 出版元 現代社 MEDICMEDIA
使用予定の視聴覚機器		パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( DVD )		

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅲ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者  藪本 喜代	
テーマと授業目標 1.皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔援助の効果と全身への影響を理解する 2.清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際を学ぶ 3.衣生活の基本的知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藪本	清潔の援助 衣生活の援助の基礎知識	講義
2	2	藪本	全身清拭の実施(DVD視聴)モデル人形使用(タオル、ウォッシュクロス の絞り方、持ち方、顔・耳の拭き方)	講義・演習
3	2	藪本	全身清拭の実施(上肢・胸部、腹部の拭き方)モデル人形使用	講義・演習
4	2	藪本	入浴・シャワー浴 寝衣交換	講義・演習
5	2	藪本	全身清拭の実施 モデル人形使用(下肢・腰背部・臀部の拭き方)	講義・演習
6	4	藪本	全身清拭・寝衣交換デモスト 洗髪デモスト	講義・演習
7	4	藪本	全身清拭・洗髪の実施(学生同士で) 洗髪DVD視聴	講義・演習
8	2	藪本	全身清拭・洗髪の実施(学生同士で)	講義・演習
9	2	藪本	口腔ケア・その他整容(洗面・髭剃り・整髪) 陰部洗浄	講義
10	4	藪本	全身清拭・洗髪の実施(学生同士で)	講義・演習
11	4	藪本	全身清拭 技術試験	試験
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
受講上の注意		1.忘れ物をしないようにすること 2.予習を行い、効果的に授業を受ける 3.演習では身だしなみを整える 4.演習開始時間に、身だしなみが整っていない場合は、遅刻・欠課とする5.演習室は私語を慎むこと6.自主的に技術練習すること		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:系統看護学講座 専門分野I		医学書院		
看護技術II 基礎看護学③				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名		^		
看護が見えるVol1 基礎看護技術		MEDIC MEDIA		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント・OHP・ビデオ・スライド・CD・カセットテープ				
その他(DVD)				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅳ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 坂 沙由美	
テーマと授業目標 人にとって食・排泄の援助ができる基礎的知識・技術を身につける				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂	食事援助の基礎知識 摂食嚥下のアセスメント	講義
2	2	坂	摂取行動のアセスメント、食生活 医療施設で提供される食事の種類	講義
3	2	坂	非経口的栄養摂取の援助	講義
4	2	坂	摂食・嚥下訓練	講義
5	2	坂	食事介助の実際	講義・演習
6	2	坂	食事介助の実際	講義・演習
7	2	坂	食事援助について	講義
8	2	坂	自然排尿および自然排便の介助	講義
9	2	坂	一時的導尿・持続的導尿	講義
10	2	坂	排便を促す援助の基礎知識 浣腸・摘便	講義
11	2	坂	症状排泄援助・おむつ交換	講義
12	2	坂	陰部洗浄・おむつ交換の練習	演習
13	2	坂	陰部洗浄・おむつ交換の練習	演習
14	2	坂	ストーマケア	演習
15	2	坂	まとめ	演習
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
受講上の注意		・事前に講義内容を理解し、演習に臨むこと・レポート課題の提出期限を順守すること ・身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できません・演習は講義開始時間までに更衣を済ませておかないと遅刻になります		
使用図書(テキスト)		出版元 医学書院 医療情報科学研究所 医療情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器		パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )		
図書名: 系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ				
看護が見える① 基礎看護技術				
看護が見える② 臨床看護技術				

科目名(単元名) 診療補助技術論		配当時期 2年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者  小林 幸路	
テーマと授業目標 1.感染防止の技術について知る 2.安全確保の技術が解かる 3.与薬の技術がわかる 4.上記の技術を統合し、採血の技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	第3章 安全確保の技術	講義
2	2	小林	第12章 診察・検査・処置における技術	講義
3	2	小林	穿刺(胸腔・腹腔・腰椎・骨髄穿刺)	講義
4	2	小林	第11章 症状、生体機能管理技術 A, 症状、生体機能管理の基礎知識 B, 検体検査 C, 生体情報のモニタリング	講義
5	2	小林	C, 生体情報のモニタリング (心電図の演習)	講義・演習
6	2	小林	第9章 与薬の技術 A, 与薬の基礎知識	講義
7	2	小林	B, 経口与薬 C, 吸入 D, 点眼 E, 点鼻	講義
8	2	小林	H, 注射 第2章 感染防止の技術G, 針刺し防止策 H, 医療施設における感染管理	講義
9	2	小林	H, 注射 (点滴静脈注射 静脈内注射)	講義
10	2	小林	H, 注射 (皮下、皮内、筋肉注射)	講義
11	2	小林	検体検査 (静脈血) 血液検査について	講義
12	2	小林	注射器の使い方 駆血帯の巻き方	講義・演習
13	2	小林	静脈血採血の演習	演習
14	2	小林	技術試験	試験
15	2	小林	技術試験	試験
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		・採血の技術は滅菌などの正しい知識、正しい与薬などの講義の知識の上に成り立っています ・静脈採血は演習を伴います。また技術チェックを行います ・技術点のうち、60%を満たしていない場合は点数が合格するまで技術の再チェックをします		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II 基礎看護学②③		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 看護が見えるVOL.2		MEDIC MEDIA		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 臨床看護総論 I		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間	担当者 藤田 和代 小牟田 淑子	
テーマと授業目標 ・各ライフサイクルの理解と看護がわかる ・生活と療養の場における対象者と家族の看護について理解できる ・各経過別における対象者・家族の特徴と看護について理解できる ・健康障害を持つ対象を理解し主要症状別看護を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤田	ガイダンス (授業全体の流れの説明・ルール決め)	講義
2	2	藤田	息がしんどい	個人 グループワーク
3	2	藤田	むくみがひどい	個人 グループワーク
4	2	藤田	食べれない・食べにくい	個人 グループワーク
5	2	藤田	おしっこが出ない・出にくい	個人 グループワーク
6	2	藤田	ウンチが出ない・でにくい	個人 グループワーク
7	2	藤田	歩けない・動けない	個人 グループワーク
8	2	藤田	話せない・聞こえない・見えない・コミュニケーションができない	個人 グループワーク
9	2	藤田	痛みが強い	個人 グループワーク
10	2	藤田	まとめ	講義
11	2	小牟田	家族機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ	講義
12	2	小牟田	ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ	講義
13	2	小牟田	健康状態と看護 健康の維持増進を目指す看護 急性期における看護	講義
14	2	小牟田	慢性期における看護	講義
15	2	小牟田	リハビリテーション期における看護 終末期における看護	講義
評価方法		筆記試験 (100点)		
受講上の注意		・テキストは忘れないようにしましょう		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野 I 臨床看護総論 基礎看護学④		医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 臨床看護総論Ⅱ		配当時期 2年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 山上富子・佐藤美香 馬場友子・近藤龍一 北浦夏子・今中悦子 小倉昌和・藤澤一郎 高瀬真也	
テーマと授業目標 ・外科的治療を受ける対象者への看護について理解できる ・放射線治療を受ける対象者への看護について理解できる ・輸血・化学療法を受ける対象者への看護について理解できる ・救急時における患者の看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	山上	救急対応の考え方 急変時における初期対応の流れ トリアージ	講義
2	2	山上	心肺蘇生法と基礎知識について 出血の種類と止血の手順 院内急変の対応について	講義
3	2	佐藤	創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護 創傷とは 創傷の処置と看護	講義
4	2	佐藤	創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護 褥瘡ケア 熱傷ケア	講義
5	2	馬場	呼吸機能障害の要因とその看護について 気管吸引について	講義
6	2	馬場	集中治療室の特徴について 集中治療を受ける患者の看護	講義
7	2	近藤	手術侵襲 手術歴史 麻酔	講義
8	2	近藤	術中看護 医療安全	講義
9	2	北浦	放射線治療における看護	講義
10	2	今中	身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者の看護	講義
11	2	小倉	放射線治療	講義
12	2	藤澤	画像診断 IVR 概論	講義
13	2	藤澤	画像診断 IVR 概論	講義
14	2	高瀬	医療機器の原理と実際	講義
15	2	高瀬	医療機器の種類	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		テキストでの事前学習		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④		出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( DVD )				



科目名(単元名) 看護過程展開技術論		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者  藤原 綾子	
テーマと授業目標 I.看護過程を構成する要素と、そのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解できる II.問題解決過程やクリティカル・シンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方を理解する III.対象者の意思決定や治療への主体的な参画を支援する学習支援の特徴を理解できる IV.事例を用いて看護過程の展開を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤原	看護過程の展開の技術 1	講義
2	2	藤原	看護過程の展開の技術 2	講義
3	2	藤原	看護過程の展開の技術 3	講義
4	2	藤原	共同問題・看護診断について1	講義
5	2	藤原	共同問題・看護診断について2	講義 グループワーク
6	2	藤原	ゴードンの枠組みについて1	講義
7	2	藤原	ゴードンの枠組みについて2	講義 グループワーク
8	2	藤原	看護過程 ①アセスメント 情報収集 情報の分析	講義
9	2	藤原	看護過程 ①アセスメント 情報収集 情報の分析	講義 グループワーク
10	2	藤原	看護過程 ②問題の明確化	講義
11	2	藤原	看護過程 ②問題の明確化	講義 グループワーク
12	2	藤原	看護過程 ③計画立案	講義 グループワーク
13	2	藤原	看護過程 ③計画立案	講義 グループワーク
14	2	藤原	看護過程 ④実施 ⑤評価	講義 グループワーク
15	1	藤原	看護過程 看護要約(サマリー)	講義
評価方法			筆記試験(100点)	合計 100点
受講上の注意 ・A4サイズの紙ファイルを準備してください ・課題学習が多くなりますので、提示された課題は必ず学習してください ・提示された課題の提出期限は守ってください。遅れた場合は減点になります ・実習につなげられるようにしっかり理解し、学んでいきましょう。				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野 I 基礎看護技術 I 基礎看護学②		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 看護が見える④ 看護過程				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他(グループワークとなることがあります)				

科目名(単元名) 地域・在宅看護総論	配当時期	2 年前期			担当者  長井 理治	
	単位数	1 単位				
	時間数	15時間				
テーマと授業目標						
1.訪問看護の対象者とその家族を理解し、在宅看護を学ぶ 2.訪問看護を取り巻く制度や社資源を理解する 3.訪問看護師の役割とこれから求められることについて理解する						
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)			授業方法
1	2	長井	在宅看護の目的と特性			講義
2	2	長井	在宅看護の目的と特性 社会資源の活用			講義
3	2	長井	社会資源の活用 継続看護			講義
4	2	長井	継続看護 多職種連携			講義
5	2	長井	多職種連携 海外の訪問看護 訪問看護の実際			講義
6	2	長井	訪問看護の実際			講義
7	2	長井	精神科訪問看護			講義
8	1	長井	精神科訪問看護			講義
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
評価方法		筆記試験				
受講上の注意		分からなければ質問をどんどんしてください				
使用図書(テキスト)		図書名:		地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護の実際	出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器		(パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他(		)				

科目名(単元名) 地域・在宅看護総論		配当時期 2年前期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 森 由紀	
テーマと授業目標 在宅における医療・保健・福祉制度、多職種と協働することや対象者の生活を支える活動を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	地域・在宅介護に係る制度とその活用 介護保険制度	講義
2	2	森	医療保険制度 訪問介護の制度	講義
3	2	森	在宅看護に係る法令・制限 地域保健・高齢者に関する法制度 ケアマネジメント 社会資源の活用	講義
4	2	森	地域・在宅介護における看護過程	講義
5	2	森	在宅介護における看護過程①	講義
6	2	森	在宅介護における看護過程② 多職種連携・多職種チームでの協働	講義
7	2	森	地域在宅看護マネジメント 退院支援について	講義
8	1	森	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名:		出版元		
地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護の実践		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ その他( )				

科目名(单元名) 地域・在宅看護 基本技術論 I	配当時期	2 年後期			担当者  俵内 晃子	
	単位数	1 単位				
	時間数	15時間				
テーマと授業目標						
1. 接遇マナーの基本を理解し実践できる。						
2. 病棟・病棟外・訪問での接遇のマナーの基本について理解し実践できる。						
3. 個人情報の取り扱いを理解し守ることができる。						
4. 日常生活の衣・食・住に必要な基本的知識と技術について習得する。						
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)			授業方法
1	2	俵内	ガイダンス 接遇マナーとは 接遇の基本			講義
2	2	俵内	敬語の使い方 病院・病棟でのマナー			講義
3	2	俵内	個人情報の取り扱い SNSについて			講義
4	2	俵内	病院と在宅の看護について			講義
5	2	俵内	在宅療法者の情報収集 ACPIについて			講義
6	1	俵内	訪問時のマナーについて			講義
7	2	俵内	訪問時の技術試験			試験
8	2	俵内	技術試験			試験
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
評価方法		筆記試験(60点) 技術試験(40点) 20点×2回				
受講上の注意		事前に予習をしておいてください				
使用図書(テキスト) 図書名: 事例から学ぶ 地域・在宅看護論 訪問時のお作法から実習のポイントまで 看護の現場ですぐに役に立つ 患者接遇のキホン せいかつの図鑑					出版元 医学書院 秀和システム 小学館	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )						

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 宮本 真弓	
テーマと授業目標 基礎看護技術を統合し、生活の場で対象に必要な看護を実践するための知識・技術・態度について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮本	地域における暮らしを支える看護実践 療養環境調整に関する在宅看護	講義
2	2	宮本	食生活・嚥下に関する在宅看護	講義
3	2	宮本	排泄に関する看護技術 清潔・衣生活とその援助	講義
4	2	宮本	呼吸準看に関する在宅看護技術 COPDの療養者の看護展開・地域在宅における時期別の看護	講義
5	2	宮本	創傷管理に関する在宅看護技術 脳卒中の療養者の事例展開	講義
6	2	宮本	与薬に関する看護技術 認知症高齢者 統合失調症の事例展開	講義・演習
7	2	宮本	パーキンソン病の療養者の事例展開 ALSの事例展開	講義・演習
8	1	宮本	がん終末期の療養者の事例展開	講義・演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		対症別看護については時間枠があまりとれず詳しい説明できないことが残念です。国家試験には状況設定別問題として出題されています。大事なところのポイントを絞って講義しますので、よく聞いていただきたいです。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 新在宅看護論 木下由美子編著 訪問看護と介護の雑誌 訪問看護研修ステップⅡ(対象別看護 難病 終末期 認知症 小児慢性疾患) 在宅看護技術 その手順と教育支援		医歯薬出版		
使用予定の視聴覚機器		パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )		

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅲ	配当時期	3年前期			担当者  藤原 綾子
	単位数	1単位			
	時間数	30時間			
テーマと授業目標					
1. 保健・医療・福祉チームにおける看護師および多職種の役割について理解する。 2. 多職種と連携しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する必要性を理解する。					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	藤原	多職種連携とは 多職種連携の必要性		講義
2	2	藤原	様々な会議、連携方法		講義
3	2	藤原	各職種の機能と役割(ケアマネージャー)		講義
4	2	藤原	各職種の機能と役割(リハビリ)		講義
5	2	藤原	各職種の機能と役割(薬剤師)		講義
6	2	藤原	各職種の機能と役割(管理栄養士)		講義
7	2	藤原	各職種の機能と役割(介護福祉士)		講義
8	2	藤原	各職種の機能と役割(相談員)		講義
9	2	藤原	事例の把握		グループワーク
10	2	藤原	退院に向けて必要な職種およびサービスについて考える		グループワーク
11	2	藤原	役割設定と準備		グループワーク
12	2	藤原	役割設定と準備		グループワーク
13	2	藤原	サービス担当者会議のロールプレイング		演習
14	2	藤原			演習
15	2	藤原	振り返り、まとめ		講義
評価方法		筆記試験(100点)			
受講上の注意					
使用図書(テキスト)		出版元			
図書名:		実践 多職種連携教育 看護師のための多職種連携攻略本		中外医学社 (株)GBR	
使用予定の視聴覚機器					
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )					

科目名(单元名) 家族看護学	配当時期	2年後期			担当者 船越 富喜江
	単位数	1単位			
	時間数	30時間			
テーマと授業目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の持つ機能を理解し、家族全体を視野に入れた関りについて理解する。</li> <li>・基本的には家族理論を理解することで、家族に働きかけて、問題解決を図っていく技法について学ぶ</li> <li>・家族のセルフケア能力を高める看護介入について理解できる</li> <li>・各期の(小児期、急性期、終末期、高齢患者、精神疾患患者)家族看護について理解できる</li> </ul>					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	船越	家族看護の特徴と理念 なぜ 家族看護を学ぶのか		講義
2	2	船越	家族看護の特徴 家族システム理論とは 家族看護に求められる力とは		講義
3	2	船越	家族看護の目指すところ 家族看護の実践の場面とは 家族看護によるアプローチ		講義
4	2	船越	ライフサイクルと家族 家族とは コミュニティーと家族		講義
5	2	船越	家族の構造 ジェノグラム		講義
6	2	船越	家族の構造 エコマップ		講義
7	2	船越	家族機能 家族のセルフケア機能 現代家族とその課題		講義
8	2	船越	まとめ		講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(53点/100)			
受講上の注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を事前に読んで授業に臨みましょう</li> <li>・日頃から家族に関するニュースなどにも関心を持ち、家族をとりまく社会の理解に努めましょう。</li> </ul>			
使用図書(テキスト)		出版元			
図書名:		医学書院			
系統看護学講座 別巻 家族看護学		メディカ出版			
家族看護学					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ					
その他(DVD)					

科目名(单元名) 家族看護学	配当時期	2年後期			担当者 池端 朋子
	単位数	1単位			
	時間数	14/30時間			
テーマと授業目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の持つ機能を理解し、家族全体を視野に入れた関りについて理解する。</li> <li>・基本的には家族理論を理解することで、家族に働きかけて、問題解決を図っていく技法について学ぶ</li> <li>・家族のセルフケア能力を高める看護介入について理解できる</li> <li>・各期の(小児期、急性期、終末期、高齢患者、精神疾患患者)家族看護について理解できる</li> </ul>					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	池端	家族看護の実践とは		講義
2	2	池端	ライフイベントについて考える 事例の説明		講義・演習
3	2	池端	家族看護過程の方法(アセスメントについて)		講義・演習
4	2	池端	家族看護過程の方法(情報分析)		講義・演習
5	2	池端	家族看護過程の方法(看護問題の抽出 分析)		講義・演習
6	2	池端	家族看護過程の方法(看護計画の立案)		講義・演習
7	2	池端	家族看護過程の方法(看護計画の立案発表) 評価		講義・演習
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(47点/100)			
受講上の注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を事前に読んで授業に臨みましょう</li> <li>・日頃から家族に関するニュースなどにも関心を持ち、家族をとりまく社会の理解に努めましょう。</li> </ul>			
使用図書(テキスト) 図書名: 家族看護学		出版元 医学書院			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)					



科目名(单元名) 地域・在宅看護特論		配当時期 2年後期 単位数 1単位(15時間) 時間数 15時間	担当者 藪本 喜代	
テーマと授業目標 在宅で療養している対象者の事例を通して、在宅での看護過程の展開が実施できる用学習する				
授業回数	時間	講師	スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藪本	ガイダンス 事例紹介 グループワーク	講義
2	2	藪本	情報の分類(情報用紙No.1~No.4)	講義
3	2	藪本	情報の分類(情報用紙No.1~No.4) 健康状態のまとめ分析(グループワーク)	講義 グループワーク
4	2	藪本	健康状態のまとめの発表 日常生活グループワーク	講義 グループワーク
5	2	藪本	日常生活の分析発表 精神状態の分析	講義
6	2	藪本	精神状態・家族・介護者の介護態力 社会資源についてグループワーク	講義
7	1	藪本	社会資源について発表 日々の目標について	講義
8	2	藪本	看護計画の立案 グループワーク	講義 グループワーク
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの提出期限は遵守してください</li> <li>・授業で配布した資料や記録用紙を閉じておくための紙ファイル(A4サイズ2穴)を準備し、すべてファイリングして毎時間持参してください</li> <li>・技術試験に関しては、その技術点の60%を満たすまで技術チェックを受けること</li> </ul>		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 統合 在宅看護論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: よくわかる在宅看護論改訂第2版 角田直枝 学研		メジカルフレンド社		
関連図で理解する 在宅看護過程 正野 逸子ら				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他( )				

科目名(単元名) 成人看護学総論		配当時期 1年後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 福田 都美恵 藤田 和代	
テーマと授業目標 1.成人看護学における基盤となる考え方や理論、方法論を理解する 2.大人の生活や健康に関する最新の動向をキャッチし時代を生きる大人の健康を多角的にとらえる視点を持つ 3.大人の多様な健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的な考え方や方法を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	成人とは 対象理解・生活	講義 グループワーク
2	2	福田	成人を取り巻く動向	講義 グループワーク
3	2	福田	成人への看護アプローチの基本	講義 グループワーク
4	2	福田	ヘルスプロモーション 健康を脅かす要因	講義 グループワーク
5	2	福田	健康をおびやかす要因 健康の急激な破綻	講義 グループワーク
6	2	福田	症状マネジメントにおける看護技術を理解できる 看護実践モデル 看護アプローチ	講義 グループワーク
7	2	福田	急性期医療 慢性期医療	講義 グループワーク
8	2	福田	慢性期医療 リハビリテーション	講義 グループワーク
9	2	藤田	第4章 ヘルスプロモーション	講義 グループワーク
10	2	藤田	第5章 健康をおびやかす要因と看護	講義 グループワーク
11	2	藤田	第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護	講義 グループワーク
12	2	藤田	第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護	講義 グループワーク
13	2	藤田	第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション	講義 グループワーク
14	2	藤田	第10章 様々な健康レベルにある人の継続的な移行支援	講義 グループワーク
15	2	藤田	第11章 新たな治療法 先端医療と看護	講義 グループワーク
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		1) 授業内容を自分の考え・思いを置き、しっかり学習につなげてください 2) 授業時間内で自己の学習を充実させるために個人ワーク・グループワークにしっかり取り組んでください 3) テキスト、提出物のわずれものをしないこと		
使用図書(テキスト)		出版元 医学書院		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学①				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元 医学書院		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 別巻 緩和ケア				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者  中村 由希	
テーマと授業目標  内分泌・代謝疾患患者の持つ身体的特徴・心理・社会的特徴を知り、具体的な援助方法や看護展開について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中村	内分泌・代謝疾患患者の特徴と看護の役割 内分泌・代謝器官の構造と機能	講義
2	2	中村	内分泌疾患の理解と患者の看護	講義
3	2	中村	代謝疾患の理解と患者の看護	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		内分泌代謝疾患の病態生理・検査・治療について復習しておいてください		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 図書名		出版元 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( DVD )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者  湯浅 一二美	
テーマと授業目標  血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理を含む長期的な治療への専門的支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	湯浅	血液・造血器疾患を持つ患者の特徴 がん薬物療法看護	講義
2	2	湯浅	急性骨髄性白血病患者の看護	講義
3	2	湯浅	造血幹細胞移植を行う患者の看護	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		血液・造血器疾患と治療の理解		
使用図書 (テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪		出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 12時間	担当者  福田 都美恵	
テーマと授業目標  血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理を含む長期的な治療への専門支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	血液の病態・生理・輸血の看護 貧血のある患者の看護	講義
2	2	福田	輸液療法 (末梢点滴、中心静脈点滴、CVポート)	講義
3	2	福田	悪性リンパ腫 (DLBCL) のR-CHOP療法 CPの分析 個人ワーク	講義・演習
4	2	福田	悪性リンパ腫 (DLBCL) のR-CHOP療法 NDの分析 グループワーク	講義・演習
5	2	福田	悪性リンパ腫の病態・CPの分析方法	講義・演習
6	2	福田	悪性リンパ腫 (DLBCL) のR-CHOP療法 CP, NDのまとめ NDのグループ単位での発表	講義・演習
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (40点/100点中)		
受講上の注意		1) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 2) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど 目的意識を持ち、参加すること 3) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと		
使用図書 (テキスト)		図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学①①		出版元 医学書院
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		図書名		出版元
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者  坂 沙由美	
テーマと授業目標 ①アレルギー疾患患者の身体的特徴と心理・社会的特徴を考慮した支援の重要性を理解する ②膠原病と膠原病類縁疾患に関する医療の動向と看護の概要を理解する ③感染症患者の特徴やリスク、心理・社会的な問題を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	1	坂	アレルギー疾患患者の看護 症状に対する看護 (診察・検査・治療)	講義
2	1	坂	気管支喘息患者の看護 アトピー性皮膚炎患者の看護	講義
3	2	坂	薬物アレルギー、ラテックスアレルギー 膠原病患者の看護	講義
4	2	坂	全身性エリテマトーデス患者の看護 感染症患者の看護	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (20点/100点)		
受講上の注意		国家試験に出題された問題を参考にしながら要点を押さえていきます 各質感患者尾地区長を理解し、必要な看護を確実に覚えましょう。		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学①①		医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年前期  単位数 1単位(30時間)  時間数 6時間	担当者  寺下 知子	
テーマと授業目標 1.呼吸器疾患(肺炎、気管支喘息、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺血栓塞栓)の看護が理解できる 2.症状に対する看護が理解できる 3.呼吸器治療の看護過程を展開することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	寺下	呼吸器疾患の患者の特徴と看護の役割 フィジカルアセスメント、症状に対する看護	講義
2	2	寺下	肺炎、気管支喘息、結核の看護	講義
3	2	寺下	肺血栓塞栓症の患者の看護 COPD患者のアセスメント	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学②  図書名		出版元 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド・CD ・カセットテープ その他(フィジカルアセスメントの授業時は聴診器を使用)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者 小林 幸路	
テーマと授業目標 1.呼吸器疾患の医療動向と看護が理解できる 2.症状に対する看護が理解できる 3.検査・治療を受ける患者の看護が理解できる 4.呼吸器治療の看護過程を展開することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	呼吸器疾患患者の特徴 聴診法 呼吸器の構造・生理 努力呼吸 呼吸困難 呼吸困難時の看護	講義
2	2	小林	呼吸機能検査 血液ガス 酸塩基平衡 低酸素症	講義
3	2	小林	酸素療法 中央配管 O <sub>2</sub> ポンベの取り扱い 観察方法 気胸とは 吸引装置の取扱い、観察方法	講義
4	2	小林	誤嚥性肺炎 事例を使って分析	講義
5	2	小林	練習問題(国試から)	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 図書名		出版元 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド・CD ・カセットテープ その他(フィジカルアセスメントの授業時は聴診器を使用)				



科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者  藤田 和代	
テーマと授業目標 1) 循環器疾患を持つ対象の経過別看護を理解できる 2) 循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護が理解できる 3) 検査・治療を受ける循環器疾患を持つ対象への看護が理解できる 4) 事例を通し疾患の理解と看護を考えることができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤田	第1章 循環器の看護を学ぶにあたって 第2章 循環器の構造と機能	講義
2	2	藤田	第6章 患者の看護 疾患を持つ患者の経過と看護 症状に対する看護	講義
3	2	藤田	症状に対する看護 浮腫・呼吸困難・チアノーゼ・湿疹 四肢の疼痛に対する看護	講義
4	2	藤田	検査を受ける患者の看護 心カテ 心電図 運動負荷試験 血行動脈モニタリング 動脈血	講義
5	2	藤田	治療を受ける患者の看護 薬物療法 手術	講義
6	2	藤田	疾患を持つ患者の看護 虚血性心疾患患者の看護 心不全患者の看護	講義
7	2	藤田	心不全患者の看護 (事例)	講義 グループワーク
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		積極的に参加し自己で考えましょう 提出物の期限を守りましょう		
使用図書 (テキスト)		図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 図書名		出版元 医学書院
使用予定の視聴覚機器		(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )		

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 神野 佳穂理	
テーマと授業目標  周手術期にある患者を身体・心理・社会的側面から全人的にとらえ 患者のニーズに沿った看護を理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	神野	手術を受ける患者の看護 ・侵襲、生体反応 ・術前・術後看護 (検査・合併症・ドレーン等)	講義
2	2	神野	疾患看護 ①食道がん ②胃がん	講義
3	2	神野	疾患看護 ①腸・腹膜疾患 ②肝・胆 ③膵	講義
4	2	神野	化学療法を受ける患者の看護 (抗がん剤療法、曝露予防など)	講義
5	2	神野	大腸がんの看護 (疾患、人工肛門とは、ストマについて)	講義
6	2	神野	ストマケア (ストマサイトマーキング) (パウチ装着、はがし、便破棄)	講義
7	2	神野	胃がん事例 グループワーク (看護過程含む)	講義 グループワーク
8	1	神野	国家試験 過去問から	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50点/100点) (課題・グループワークとその後の発表内容含む)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 別巻 臨床外科看護各論				
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者 古野 智子	
テーマと授業目標 1) 消化器疾患患者の経過の特徴看護について理解できる 2) 消化器疾患患者に多く見られる症状の病態生理を踏まえ、症状に対する看護を理解できる 3) 消化器疾患をもつ患者の看護について理解できる 4) 消化器疾患を持つ患者の看護過程を展開できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	古野	消化器疾患の医療と動向 消化器疾患患者の特徴と看護の役割 消化器疾患に多くみられる症状に対する看護	講義
2	2	古野	消化器疾患に多くみられる症状に対する看護 (腹痛 吐下血 下痢 便秘) 治療を受ける消化器疾患患者の看護 (薬物療法 栄養療法 食事療法)	講義
3	2	古野	検査を受ける患者の看護 食道疾患患者の看護 (胃食道逆流症) 胃・十二指腸疾患患者の看護 (胃・十二指腸潰瘍) (胃がん患者の看護)	講義
4	2	古野	腸・腹膜炎疾患患者の看護 (イレウス) 肝臓・胆のう疾患患者の看護 (胆石、胆のう炎、胆管炎、肝がん)	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50点/100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 出版元 医学書院  図書名  使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2年前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 7時間	担当者  中島 早弥香	
テーマと授業目標 1) 消化器疾患患者の経過の特徴看護について理解できる 2) 消化器疾患患者に多く見られる症状の病態生理を踏まえ、症状に対する看護を理解できる 3) 消化器疾患をもつ患者の看護について理解できる 4) 消化器疾患を持つ患者の看護過程を展開できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中島	消化器疾患患者の看護 (肝硬変・急性膵炎・慢性膵炎)	講義
2	2	中島	急性膵炎の事例をもとに看護過程の展開 (個人・グループワークでアセスメント)	講義
3	2	中島	急性膵炎の事例をもとに看護過程の展開 (グループワークで看護問題立案 看護計画立案)	講義
4	1	中島	急性膵炎の事例をもとに看護過程の展開 (グループワークで看護計画立案 グループ発表)	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(50点/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 出版元 医学書院  図書名  使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2年前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 6時間	担当者 中谷 悦子	
テーマと授業目標				
1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中谷	医療の動向と看護 症状とその看護 せん妄について	講義
2	2	中谷	大腿骨近位部骨折 脊髄損傷患者の看護	講義
3	2	中谷	大腿骨近位部骨折(看護展開)	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(35点/100点)		
受講上の注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は講義時に配布</li> <li>・配布資料は毎回持参</li> </ul>		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(演習では松葉杖、車いすなどを使用する)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2年前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者 坂 沙佑美	
テーマと授業目標 1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂	医療の動向と看護 患者の特徴と看護の役割 看護の役割 包帯法	講義
2	3	坂	包帯法の演習	演習
3	4	坂	関節リウマチ患者の看護	講義
4	5	坂	変形性股関節症患者の看護	講義
5	6	坂	腰椎椎間板ヘルニア患者の看護	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(12点/100点)		
受講上の注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は講義時に配布</li> <li>・配布資料は毎回持参</li> </ul>		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 病気が見える6 免疫・膠原病・感染症				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド		・CD ・カセットテープ		
その他(演習では松葉杖、車いすなどを使用する)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6 時間	担当者 宮本 麻侑子	
テーマと授業目標  脳神経外科看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮本	医療の動向と看護 主な症状と検査 疾患別看護	講義
2	2	宮本	疾患別看護	講義
3	2	宮本	疾患別看護 グループワーク事例検討	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (41点/100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳神経		出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者 福田 都美恵	
テーマと授業目標 脳神経疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理をふうむ長期的な治療への専門支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	3	福田	脳神経の病態生理 脳血管 脳部位別の働き 脳疾患画像の読み取り	講義
2	2	福田	認知症患者の看護 (中核症状 周辺症状) 下垂体腺腫摘出術を受ける患者の看護	講義
3	2	福田	パーキンソン病患者の看護 ALS患者の看護	講義
4	3	福田	髄膜炎患者の看護	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (12点/100点)		
受講上の注意		授業内容を自分の考えや思いにつなげること 教科書、提出物の忘れ物はしないこと		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳神経 成人看護学Ⅳ		医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				



科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 14時間	担当者 福田 都美恵	
テーマと授業目標 ・腎・泌尿器疾患患者の特徴が理解できる・内科的治療と外科的治療の看護が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	泌尿器系解剖 生理	講義
2	2	福田	腎・泌尿器科の検査(新鮮尿、中間尿、24時間尿) IVP・膀胱鏡の看護 膀胱疾患患者の看護(膀胱がん 膀胱炎)	講義
3	2	福田	前立腺の解剖、前立腺炎患者の看護 前立腺肥大患者の看護 前立腺がん患者の看護	講義
4	4	福田	腎臓の解剖・腎盂腎炎患者の看護 腎がん・結石の患者の看護・腎生検時の看護	講義
5	4	福田	腎・泌尿器科疾患の放射線療法の看護	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧		医学書院		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨		医学書院		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑫皮膚 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 ⑮歯・口腔		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 6時間	担当者 森 明広	
テーマと授業目標 ・感覚器疾患による障害を理解する・感覚器の障害がある患者への必要な援助を理解する ・他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	歯・口腔の感がを学ぶにあたって 口腔症状のある患者の看護 口腔ケア	講義
2	2	森	耳鼻咽喉の看護を学ぶにあたって 耳鼻咽喉領域の患者の看護 摂食嚥下障害患者の看護	講義
3	2	森	目に障害のある患者の看護 皮膚疾患患者の看護 スキンケア	講義
4	2			
5	2			
6	2			
7	2			
8	2			
9	2			
10	2			
11	2			
12	2			
13	2			
14	2			
15	2			
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑫皮膚 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 ⑮歯・口腔		出版元 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 8時間	担当者  撫養 文代	
テーマと授業目標  ・女性生殖器疾患の必要な援助を理解する ・他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	撫養	女性生殖器疾患の理解 患者の特徴 看護の役割 診療解除における看護	講義
2	2	撫養	性感染症(クラミジア・梅毒等)保健指導 子宮頸がん・子宮体がんの看護について	講義
3	2	撫養	乳がんについて 月経周期の復古	講義
4	2	撫養	卵巣がん 子宮筋腫について 女性生殖器の周手術期の看護	講義
5	2			
6	2			
7	2			
8	2			
9	2			
10	2			
11	2			
12	2			
13	2			
14	2			
15	2			
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 老年看護学総論	配当時期	担当者		
	単位数	1年後期	藪本 喜代	
	時間数	1単位		
		30時間		
テーマと授業目標				
1.加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する 2. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活及び健康を支える看護について理解する 3.高齢者を取り巻く社会制度および保健・医療・福祉の動向と諸問題を学び看護の役割を理解する 4.多様な生活の場で、高齢者の健康を支える看護について理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藪本	高齢者の理解 ・高齢者とは・高齢者の特徴と理解	講義
2	2	藪本	高齢者の理解 ・生活歴についてのグループワーク ・高齢者にとっての健康	講義 グループワーク
3	2	藪本	高齢者の健康状態のアセスメント 高齢者にとってのQOL	講義
4	2	藪本	高齢者の加齢に伴う変化	講義
5	2	藪本	高齢者を取り巻く社会 ・高齢者の生活と家族	講義
6	2	藪本	高齢者を取り巻く社会 ・高齢者を支える制度	講義
7	2	藪本	介護保険制度	講義
8	2	藪本	介護保険サービス内容について	講義
9	2	藪本	長期療養施設 在宅サービス及び看護	講義
10	2	藪本	高齢者看護の特性 高齢者看護の倫理	講義
11	2	藪本	高齢者のアセスメントの特徴	講義
12	2	藪本	高齢者のバイタルサイン特性	講義
13	2	藪本	高齢者によくみられる疾患 高齢者の健康づくり	講義
14	2	藪本	高齢者の生活を支える看護	講義
15	2	藪本	高齢者理解のための実習	講義・演習
評価方法	筆記試験(100点)			
受講上の注意	教科書や資料などから、復習しましょう 教科書掲載の関連動画を視聴しましょう 社会で怒っている高齢者に関することにも関心を持ちましょう			
使用図書(テキスト)	図書名: ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害		出版元	メディカ出版
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)	図書名		出版元	
使用予定の視聴覚機器	(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)			

科目名(単元名) 老年臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者  栗原 美奈子	
テーマと授業目標  高齢者の身体的特徴、疾患を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	栗原	高齢者の身体変化 呼吸 腎	講義
2	2	栗原	高齢者と心不全	講義
3	2	栗原	貧血 浮腫	講義
4	2	栗原	パーキンソン病	講義
5	2	栗原	慢性閉塞性肺疾患	講義
6	2	栗原	肺結核 肺水腫	講義
7	2	栗原	認知症	講義
8	1	栗原	うつ病	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		ノートに書き込む		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:		高齢者看護の実践		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 26時間	担当者 撫養 文代	
テーマと授業目標 1. 老年期にある人の尊厳や権利に配慮した関りについて考えることができる 2. 老年期にある人の日常生活の健康問題を総合的に理解し、生活機能の維持、回復を図り、その人らしく生活するための看護を考える 3. 尊厳ある看取りについて学び終末期にある高齢者と家族支援を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	撫養	高齢者の生活を支える看護 加齢に伴う諸機能の変化と指導	講義
2	2	撫養	高齢者の食生活を支える看護 摂食・嚥下機能への具体的な関りについて	講義
3	2	撫養	高齢者の食生活を支える看護 胃ろう・ポジショニング・その他、食事介助ポイント	講義
4	2	撫養	高齢者の清潔・衣生活を支える看護 フットケア・スキンケアへの知識と技術	講義
5	2	撫養	高齢者の食生活を支える看護 とろみ食の作成	講義・演習
6	2	撫養	高齢者の排泄を支える看護 排泄についてのアセスメントと援助	講義
7	2	撫養	高齢者の治療用薬物服用 飲用上の注意	講義
8	2	撫養	高齢者の休息と活動への関りについて	講義
9	2	撫養	高齢者の活動の視点 痛みについて	講義
10	2	撫養	治療を受ける高齢者の看護 浮腫・脱水	講義
11	2	撫養	高齢者のリハビリテーションについて FIM. 演習	講義・演習
12	2	撫養	行動制限 ー身体拘束についてー	講義
13	2	撫養	終末期の看護(エンドオブライフケア)	講義
14				
15				
評価方法		筆記試験(87点/100点)		
受講上の注意		・基礎看護技術や老年看護学総論、老年臨床看護論Ⅰで学んだ知識・技術を統合し、試行錯誤しながらよりよい援助を考えていきましょう ・		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: ナーシンググラフィカ 老年看護学①		メディカ出版		
ナーシンググラフィカ 老年看護学②				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他( )				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 4時間	担当者  木尾 恭子	
テーマと授業目標 ・認知症の病態・症状を理解し、それに応じた看護がわかる ・実践に活かせるよう認知症高齢者とのコミュニケーションの基本、サポートシステムの理解ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	木尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の病態と要因</li> <li>認知症の症状理解とケア</li> </ul>	講義
2	2	木尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者とのコミュニケーションの基本</li> <li>認知症高齢者家族への支援とサポートシステム</li> <li>認知症高齢者の人権と権利擁護</li> </ul>	講義
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (13点/100点)		
受講上の注意		・教科書に沿って講義を行います		
使用図書 (テキスト) 図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学① ナーシンググラフィカ 老年看護学②		出版元 メディカ出版		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 老年看護学特論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 藤田 和代	
テーマと授業目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の学習内容を統合し、老年期における人々を全人的にとらえるために必要な情報収集の視点、アセスメントの進め方を理解する</li> <li>・内容: 全身麻酔の手術を受ける老年患者のパーパーシュミレーションを用いた看護過程の展開</li> </ul>				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤田	事例提示(大腸がん) 急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
2	2	藤田	急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
3	2	藤田	急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
4	2	藤田	共同問題 (麻酔からの覚醒遅延・呼吸器合併症・循環器合併症) 分析	講義 個人ワーク
5	2	藤田	共同問題 (術後出血・深部静脈血栓症・術後疼痛・術後せん妄) 分析	講義 個人ワーク
6	2	藤田	共同問題 (縫合不全・腸閉塞・手術部位感染・ストーマ早期合併症) 分析	講義 個人ワーク
7	2	藤田	看護問題について	講義・演習
8	1	藤田	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習は計画的に進めていきましょう・学習に必要なテキストおよび参考書は各自で準備してください・課題レポートは提出期日を守ってください・科目の表kを受けるには、筆記試験及び技術試験の両方を受ける必要があります・技術点に関してはその技術点の60%を満たされるまで技術チェックを受ける必要があります</li> </ul>		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 老年看護学概論		南江堂		
老年看護技術		南江堂		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 生活機能から見た老年看護過程		医学書院		
根拠と事故防止から見た老年看護技術		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ				
その他( )				



科目名(単元名) 小児看護学総論		配当時期 2年前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 合田 友美	
テーマと授業目標				
1.小児の健康問題や小児を取り巻く環境・社会・福祉の現状を捉え、小児看護の基本的な考え方を習得する				
2.健康障害のある小児とその家族の特徴を理解し、健康の回復保持、増進のための看護を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	合田	小児看護の特徴と概念/小児の成長発達	講義 グループ ディスカッション
2	2	合田	小児と家族を取り巻く環境と医療/小児と権利と小児看護	講義 グループ ディスカッション
3	2	合田	小児の成長・発達：新生児/乳児①	講義 グループ ディスカッション
4	2	合田	小児の成長・発達：新生児/乳児②	講義 グループ ディスカッション
5	2	合田	小児の成長・発達：幼児期	講義 グループ ディスカッション
6	2	合田	小児の成長・発達：学童期・思春期	講義 グループ ディスカッション
7	2	合田	小児を取り巻く社会	講義 グループ ディスカッション
8	2	合田	病気・障がいのある小児とその家族の理解と看護	講義 グループ ディスカッション
9	2	合田	入院中の小児と家族の看護 外来における小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
10	2	合田	災害における小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
11	2	合田	症状を示す小児の看護	講義 グループ ディスカッション
12	2	合田	手術を受ける小児と家族の看護 急性期にある子供と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
13	2	合田	慢性期にある子供と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
14	2	合田	終末期にある子供と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
15	2	合田	検査・処置を受ける小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・本講義では、グループディスカッション等、参加型の要素を取り入れています。そのためワークへの積極的な参加を期待します		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名：系統看護学講座 小児看護学概論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名： 授業毎に紹介させていただきます				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他( )				

科目名(単元名) 小児臨床看護論 I		配当時期 2年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者  松元 陽一	
テーマと授業目標  小児の身体的特徴、小児に起こりやすい健康障害とその病態生理・治療・検査を学び、看護過程展開に必要な知識を習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	3	松元	先天異常～新生児	講義
2	3	松元	新生児～内分泌(疾患)	講義
3	3	松元	内分泌～免疫(疾患)	講義
4	3	松元	免疫～感染症(疾患)	講義
5	3	松元	感染症(疾患)	講義
6	3	松元	循環器(疾患)	講義
7	3	松元	消化器(疾患)	講義
8	3	松元	消化器(疾患)	講義
9	3	松元	血液(疾患)	講義
10	3	松元	悪性疾患	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 別巻2 臨床外科看護各論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 16時間	担当者  俵内 晃子	
テーマと授業目標 ・先天異常についての疾患・病態を理解し、その成長・発達に合わせた看護について理解できる。 ・ハイリスク新生児となる因子・疾患・看護の理解ができる。 ・子供に多い事故・外傷についての予防や看護を理解できる。 ・小児の代表的な健康障害の経過・症状・治療および看護についての知識を習得し、小児と家族への健康回復・保持・増進のための看護を理解することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	事故・外傷と看護	講義
2	2	俵内	運動器疾患のある子どもの看護	講義
3	2	俵内	感覚器疾患のある子どもの看護	講義
4	2	俵内	先天異常のある子どもの看護	講義
5	2	俵内	新生児の看護	講義
6	2	俵内	感染症について	講義
7	2	俵内	神経疾患のある子どもの看護	講義
8	2	俵内	精神疾患のある子どもの看護	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(53点/100)		
受講上の注意		教科書を事前に読んで授業に臨みましょう 日頃から子供に関するニュースなどに関心を持ち、 子供をとりまく社会の理解につなげましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護総論・小児臨床看護各論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護		照林社		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 14時間	担当者 西田 千夏	
テーマと授業目標 小児の代表的な健康障害の経過・症状・治療および看護についての知識を習得し、小児と家族への健康回復・保持・増進のための看護を理解することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	西田	呼吸器系疾患の小児と家族の看護	講義
2	2	西田	免疫アレルギー系疾患の小児と家族の看護	講義
3	2	西田	循環器系疾患の小児と家族の看護	講義
4	2	西田	消化器系疾患の小児と家族の看護	講義
5	2	西田	代謝・内分泌系疾患の小児と家族の看護	講義
6	2	西田	腎・泌尿器系疾患の小児と家族の看護	講義
7	2	西田	血液・造血器疾患・悪性新生物の小児と家族の看護	講義
評価方法		筆記試験(47点/100)		
受講上の注意		小児看護学概論・総論の復習をして臨みましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護総論・小児臨床看護各論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )				

科目名(单元名) 小児看護学特論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 ・健康障害のある小児の事例を通して、看護展開ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	事例紹介・進め方・情報分類	講義
2	2	俵内	小児の特徴について	講義・演習
3	2	俵内	小児の疾患について	講義・演習
4	2	俵内	日常生活援助について	講義・演習
5	2	俵内	とりまくサポートについて 今後の方向性について	講義・演習
6	2	俵内	看護計画の立案・シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定	講義・演習
7	2	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技 ・観察・環境	演習
8	1	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技 ・観察・環境	演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・授業のペースについていけるように、自己学習を進めること・各自必要な文献は持参すること・最終提出期限に提出できない場合、試験当日に欠席した場合は、どちらか1つでも追試験の対象になる・遅刻は、15分未満の場合のみ、記録提出・試験受験可能とする		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 小児看護学概論		医学書院		
小児臨床看護総論		医学書院		
解剖生理学				
成人看護学③ 循環器				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 母性看護学総論		配当時期 2年前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 ・女性の健康についてライフサイクル「全体の中で考え、女性としての生き方を尊重し支えると共に、健康の保持増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の役割・機能について総合的に理解する。また、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	・母性看護の主な概念と理論 ・母性・父性・親性の概念と発達	講義
2	2	坂口	・母子関係と家族発達 理論 ライフサイクルと家族 プレコンセプションケア	講義
3	2	坂口	リプロダクティブヘルツ/ライツ ・母性看護をとりまく環境・母性看護における安全、事故防止	講義
4	2	坂口	・母性看護の歴史的変遷の現状 統計 ・母性看護における倫理的問題	講義
5	2	坂口	・母性看護にかかわる法律 母子保健法 他	講義
6	2	坂口	・母性看護にかかわる施策 グループワーク発表	講義 グループワーク
7	2	坂口	・母性看護の対象理解 女性のライフサイクルにおける形態機能 月経周期	講義
8	2	坂口	妊娠の成立	講義
9	2	坂口	・母性看護における看護技術 看護過程	講義
10	2	坂口	・女性のライフステージ各期における看護 思春期・性成熟期・更年期	講義
11	2	坂口	女性のライフステージ各期における看護 老年期 リプロダクティブヘルスケア 家族計画	講義
12	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア グループワーク	講義 グループワーク
13	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア グループワーク発表	講義 グループワーク
14	2	坂口	・性感染症 DV 産後うつ 人工妊娠中絶	講義
15	2	坂口	喫煙 外国人母子の支援 災害時の看護	講義
評価方法		筆記試験(100点) ただし、提出物が出ていない場合は減点になります		
受講上の注意		・テキストを忘れないようにしましょう・グループワークは積極的に参加しましょう・母性に関する社会の動向や課題に対して、テレビやインターネット、新聞などの記事などに関心を持ち、読んでおいてください		
使用図書(テキスト)		出版元 医学書院		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(1) 母性看護学概論				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元 医学書院		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2) 母性看護学各論				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 母性臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8時間	担当者  勝田 真理	
テーマと授業目標  ・妊娠期の身体的・社会的変化を理解する ・妊娠と胎児の健康状態のアセスメントについて必要な情報を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	勝田	妊娠期の身体的特性 ・ 妊婦体験 ・ ミラクルストーリー (DVD)	講義
2	2	勝田	胎盤計測 胎児の発育とその生理 グループワーク	講義 グループワーク
3	2	勝田	妊娠期の心理・社会的特性	講義
4	2	勝田	演習 バースプラン 母体計測 (腹囲、子宮底) レオポルド触診法、胎児の胎位・胎向	講義・演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (33点/100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト) 図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学 (2) 母性看護学各論		出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ( ビデオ ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 母性臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者  片山 美保	
テーマと授業目標  1.分娩の経過に伴う身体変化お飛び心理・社会的変化が理解できる 2.産婦の看護についてアセスメントでき、その援助が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	片山	分娩の 3 要素とその機序	講義
2	2	片山	分娩第 1 期の看護 身体的変化、心理・社会的変化	講義
3	2	片山	分娩第 1 期の看護 具体的ケアを考える (第 2 期・第 3 期のケア) 分娩動画視聴	講義
4	2	片山	産婦の充足されるべきニード 各分娩期の看護について起こりやすい問題と対処を考える	講義 グループワーク
5	2			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (33点/100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学 (2) 母性看護学各論		医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( 骨盤模型・胎児人形 )				



科目名(単元名) 母性臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14 時間	担当者 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 1. 褥婦・新生児の生理的変化を理解する 2. 褥婦のセルフケア能力が維持・増進できる看護援助について理解できる 3. 褥婦・新生児とその家族に対する援助が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	産褥経過と褥婦の健康状態アセスメント 進行性変化・退行性変化	講義
2	2	坂口	産褥経過と褥婦の健康状態のアセスメント 全身の変化 褥婦のセルフケアと生活	講義
3	2	坂口	褥婦の心理・社会的変化 母への適応過程 育児技術 家族関係再構築への看護	講義
4	2	坂口	子育て支援、社会資源 災害時の看護 退院支援 (DVD)	講義
5	2	坂口	新生児の生理・身体的特徴 新生児の生理 (DVD)	講義
6	2	坂口	新生児の健康状態のアセスメント 子宮外適応	講義
7	2	坂口	新生児の看護、観察 栄養、保清、保育環境、退院後の看護、事故防止、安全	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		テキストを忘れないようにしましょう		
使用図書 (テキスト) 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学 (2) 母性看護学各論 母性看護技術		出版元 医学書院 メジカルフレンド社		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 母性看護学1 妊娠・分娩 母性看護学1 産褥・新生児 ウエルネスから見た母性看護過程		出版元 医歯薬出版株式会社 医歯薬出版株式会社 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者 中西 健太郎	
テーマと授業目標 妊娠、分娩、産褥、新生児の正常異常を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中西	ハイリスク妊娠(妊娠期の感染症を中心に)	講義
2	2	中西	ハイリスク妊娠(妊娠高血圧症、妊娠糖尿病)	講義
3	2	中西	妊娠持続期間の異常	講義
4	2	中西	胎児付属物の異常 産道の異常	講義
5	2	中西	新生児の異常・不妊症 遺伝相談(カウンセリング)	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(33点/100点)		
受講上の注意		テキストを忘れないようにしましょう		
使用図書(テキスト) 図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2) 母性看護学各論		出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 病気が見える 産科		出版元 医学情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(プリント )				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 20時間	担当者 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 ・母性看護学総論・母性臨床看護論で学習した知識を基礎と死周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)の異常に焦点を当て、母子および家族に必要な看護を学ぶ ・不妊治療を受ける女性の心理・社会的特徴を理解し不妊治療への看護の理解を深める				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	妊娠期の異常と看護 ハイリスク妊婦の看護、合併症を有する妊婦の看護	講義
2	2	坂口	妊娠期の異常と看護 (切迫流産・妊娠糖尿病・妊娠高血圧・感染症)	講義
3	2	坂口	分娩期の異常と看護 分娩経過の逸脱と看護	講義
4	2	坂口	分娩期の異常と看護 胎児機能不全・分娩時の損傷と看護・プリント	講義
5	2	坂口	分娩期の異常と看護 弛緩出血 帝王切開	講義
6	2	坂口	新生児の異常と看護 新生児仮死 低出生体重児 特有の疾患と看護	講義
7	2	坂口	新生児の異常と看護 高ビリルビン血症児の看護、ビタミンK欠乏性出血症児の看護	講義
8	2	坂口	産褥の異常と看護 産褥熱・復古不全、血栓症を中心に	講義
9	2	坂口	産褥期の異常と看護 乳腺炎・感染症・精神障害 周産期におけるグリーフケア	講義
10	2	坂口	不妊治療を受ける患者の看護 まとめ	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(67点/100点)		
受講上の注意		テキスト・資料を忘れないようにしましょう		
使用図書(テキスト) 図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2) 母性看護学各論 母性看護技術 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 病気が見える 第2版 産科		出版元 医学書院 メジカルフレンド社 出版元 医学情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 母性看護学特論	配当時期	2年後期			担当者  坂口 真紀子
	単位数	1単位			
	時間数	15時間			
テーマと授業目標					
<p>女性のライフサイクルで特に母性機能の活発な時期の女性を、一例ペーパーシュミレーションにて展開し、母性実習の看護の展開に役立てる 事例を通して、対象とその家族への基本的な援助ができる</p>					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	坂口	看護過程(ウエルネスの考え方) 妊娠期～産褥期、新生児期の情報分析のポイント		講義
2	2	坂口	妊娠期・分娩期の事例展開 グループワーク		講義 グループワーク
3	2	坂口	産褥期・新生児期の事例展開 グループワーク		講義 グループワーク
4	2	坂口	演習 (沐浴・更衣・抱き方・調乳)		講義・演習
5	2	坂口	技術 (レオポルド触診法、NST 腹囲子宮底長 新生児のバイタルサイン測定)		講義・演習
6	2	坂口	事例全体のまとめと質問		講義
7	3	坂口	・沐浴試験(技術試験) ・新生児のバイタルサイン測定		講義・演習
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(100点)			
受講上の注意		わからないことはどんどん聞いてください。演習はユニフォームをきちんと着用して身だしなみを整えてください。提出用にA4の紙ファイルを用意してください。今までに母性で使用した資料をすべて持ってきてください。母性看護学実習の事前学習課題の提出もあります			
使用図書(テキスト)		出版元			
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2)					
母性看護学概論 母性看護学各論		医学書院			
母性看護技術		メジカルフレンド社			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元			
母性看護学1 妊娠・分娩		医歯薬出版株式会社			
母性看護学1 産褥・新生児		医歯薬出版株式会社			
ウエルネスから見た母性看護過程		医学書院			
ウエルネス看護診断に基づく母性看護過程		医歯薬出版株式会社			
使用予定の視聴覚機器					
( パワーポイント ) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他 ( )					

科目名(単元名) 精神看護学総論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者  坂東 正巳	
テーマと授業目標 1.精神看護学の基本的な考え方、精神看護の視点や態度をまなぶ 2.精神科医療の世界的な動向と日本の現状を理解する 3.心を病んだ人々への精神医療と看護の変遷を理解できる 4.精神障害者の看護に必要な法制度を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂東	第1章 精神看護学とは何か 精神障害を持つ人の病への体験と精神看護	講義
2	2	坂東	「心のケア」と日本社会 精神看護の課題	講義
3	2	坂東	第2章 精神の健康とは 心身に影響を及ぼすストレスの影響 心的外傷(トラウマ)と回復	講義
4	2	坂東	第7章 社会の中の精神障害 精神障害と治療の歴史 日本における精神医学・精神医療の流れ	講義
5	2	坂東	精神障害と法制度 主な精神保健福祉対策とその動向	講義
6	2	坂東	精神障害と文化 多様性と普遍性 精神障害と社会学	講義
7	2	坂東	第4章 関係の中の人間 システムとしての人間関係	講義
8	1	坂東	第4章 関係の中の人間 全体としての家族 人間と集団	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		精神障害についての理解を深め、精神障害を持つ対象者の看護について考えていきましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:精神看護学① 精神看護の基礎		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				

科目名(単元名) 精神保健論	配当時期	2 年前期			担当者  深井 博文
	単位数	1 単位			
	時間数	30 時間			
<p>テーマと授業目標</p> <p>・精神保健とは、精神の保健に関する学問であり、その精神的健康を維持・向上させる実践活動である。社会的・心理的ストレスにさらされ、不適応状態を起こすことが多い現代社会において精神的問題を学ぶことは不可欠のことである。</p> <p>また発達課題上の問題から職場、学校、過程、地域などの生活の場を通して精神的危機の実際、災害精神保険活動などを理解し実践できるようにすることが必要である</p>					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	深井	序第1章(心の発達)フロイト・エリクソン		講義
2	2	深井	第1章(心の発達)フロイト・エリクソン		講義
3	2	深井	フロイトの発達理論		講義
4	2	深井	第3章 生活の場とクライシス		講義
5	2	深井	第4章 医療現場における精神危機		講義
6	2	深井	第7章 物質依存症		講義
7	2	深井	第7章 物質依存症		講義
8	2	深井	人間の性(セクシュアリティ)とその発達		講義
9	2	深井	クライシスと家庭における危機		講義
10	2	深井	家庭における危機		講義
11	2	深井	医療現場における精神的ケアの実際		講義
12	2	深井	医療現場の人間関係①		講義
13	2	深井	医療現場の人間関係②		講義
14	2	深井	がんサバイバーシップ		講義
15	2	深井	災害後の精神保健活動		講義
評価方法		筆記試験(100点)			
受講上の注意		授業中の私語、携帯電話、スマホの操作、内職は厳禁とする			
使用図書(テキスト)			出版元		
図書名: 太田 保之ほか編著 精神保健			医歯薬出版		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ					
その他( )					

科目名(単元名) 精神臨床看護論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 3 0 時間	担当者  小牟田 淑子	
テーマと授業目標 1.精神看護の目的・機能および患者と看護師関係を理解する 2.精神に障害のある対象者の援助と暮らしの拡大と家族の援助について理解する 3.精神疾患と症状から看護介入を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小牟田	精神障害者の理解と看護の基本 ケアの前提・原則・方法	講義
2	2	小牟田	患者看護師関係・プロセスレコードの書き方 ・患者とのかかわりから事故を理解する	講義
3	2	小牟田	対象の場面と医療の場 患者の行動や反応から患者を理解し看護を深める	講義
4	2	小牟田	回復の意味 回復のビジョンやプログラムを知り、援助を見出す	講義
5	2	小牟田	入院治療の目的と意味 患者家族にとって入院の影響・目的を知り、看護を見出す	講義
6	2	小牟田	治療的環境を作る 患者を取り巻く環境より看護介入する	講義
7	2	小牟田	地域におけるケアと支援	講義
8	2	小牟田	学校や職場におけるメンタルヘルス	講義
9	2	小牟田	精神科における身体ケア	
10	2	小牟田	精神科治療に伴う身体ケア	
11	2	小牟田	身体合併症のアセスメントとケア	
12	2	小牟田	精神科看護の実際	
13	2	小牟田	安全を守る	
14	2	小牟田	自殺、暴力・無断離院についての対処	
15	2	小牟田	災害時のメンタルヘルス	
評価方法		筆記試験 (100点)		
受講上の注意		教科書・資料プリントに沿って講義をします		
使用図書 (テキスト) 図書名: 精神看護学② 精神看護の展開 精神科看護の知識と実際		出版元 医学書院 メディカ出版		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( )				

科目名(単元名) 精神看護学特論	配当時期	2年後期			担当者  小牟田 淑子	
	単位数	1単位				
	時間数	15時間				
テーマと授業目標 精神障害を持つ人の基本的な看護が理解できる 1.精神に障害のあるペーパーペイシエントの看護過程が展開できる 2.被毒妄想のある模擬患者に与薬ができる 3.5模擬患者に対して実施した看護の振り返りができる						
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)			授業方法
1	2	小牟田	看護過程について ゴードンの11領域について EMSビデオ(妄想について)			講義
2	2	小牟田	情報の整理 情報の視覚化(主観的・客観的データ)			講義
3	2	小牟田	情報のアセスメントと明確化			講義
4	2	小牟田	ペーパーペイシエントのロールプレイ振り返り 看護計画立案(分析)			講義
5	2	小牟田	ペーパーペイシエントのロールプレイ振り返り 看護計画立案(分析)			講義
6	2	小牟田	看護計画立案立案 分析・計画			演習
7	3	小牟田	看護計画立案立案 発表			演習
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
評価方法		筆記試験(100点)				
受講上の注意		自己の看護過程展開が主体になってきます 事例検討用のA4ファイルを用意してください				
使用図書(テキスト)		図書名: 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学① 精神看護の基礎		出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		図書名 精神科看護の知識と実際		出版元 メディカ出版		
使用予定の視聴覚機器		(パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他( )				



科目名(単元名) 感染看護論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 藤本 憲明	
テーマと授業目標 看護における重要な感染予防対策 目標 看護業務における感染予防対策や法律に関する知識を習得できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤本	標準予防策	講義
2	2	藤本	感染経路別予防策	講義
3	2	藤本	微生物・抗菌薬の復習 洗浄・消毒・滅菌について	講義
4	2	藤本	予防接種法・学校安全保健法・感染症法 廃棄物処理法	講義
5	2	藤本	職業感染対策 感染症別感染対策	講義
6	2	藤本	感染症別感染対策	講義
7	2	藤本	感染症別感染対策	講義
8	1	藤本	医療関連感染症対策	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 国民衛生の動向		厚生労働統計評価		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名:		診断と治療社		
看護学生・新人のための看護ケアに活かす感染対策ガイド第2版				
微生物・薬理学の教科書				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他( )				

科目名(単元名) 災害看護論	配当時期 2年後期		担当者 山上 富子	
	単位数 1単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標 災害の種類と被害、疾患の特徴などの基礎知識を理解する 災害サイクルの各期における具体的な看護活動を理解する 災害時のストレスについて理解する 被災地での看護活動について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	山上	災害医療の基礎知識 (災害の定義、災害の種類と健康障害 災害医療の特徴)	講義
2	2	山上	災害と情報 被害者特性に応じた災害看護の展開	講義
3	2	山上	災害医療に関する法律と施策 災害医療に関する国の政策について	講義
4	2	山上	被災地における超急性期～急性期の看護 トリアージ(一次トリアージ)について	講義
5	2	山上	発災時のゾーニング 二次トリアージについて	講義
6	2	山上	外傷診療について	講義
7	2	山上	災害サイクルに応じた活動現場の災害 看護(亜急性期)	講義
8	1	山上	災害と心のケア	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		テキストでの事前学習		
使用図書(テキスト) 図書名: 災害看護学・国際看護学		出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名:		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( )				

科目名(単元名) 災害看護論	配当時期	3年前期			担当者  遠田 友利
	単位数	1単位			
	時間数	15時間			
<p>テーマと授業目標</p> <p>チーム・組織の一員として活動する看護職に必須である「マネジメント」は看護の質を保ち看護の提供することができることを知る。</p> <p>学習目標 1.看護管理の考え方、捉え方が理解できる 2.組織マネジメント、キャリアマネジメント、ケアマネジメント、サービスマネジメントについて理解できる</p>					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	遠田	看護管理概論 看護管理学とは、看護におけるマネジメントの考え方の変遷		講義
2	2	遠田	マネジメントに必要な知識 マネジメントとは、組織		講義
3	2	遠田	組織管理の視点での医療安全 チーム医療 安全管理		講義
4	2	遠田	日常業務のマネジメント チーム医療 業務のマネジメント		講義
5	2	遠田	日常業務のマネジメント 優先順位 多重課題における業務アセスメント		講義
6	2	遠田	看護サービスマネジメント1 看護組織のマネジメント 看護ケア提供システム 人材マネジメント		講義
7	2	遠田	看護サービスマネジメント2 物品、施設、情報のマネジメント サービス評価 マネジメントに必要な知識と技術		講義
8	1	遠田	看護職のキャリアマネジメント キャリア形成と専門職としての在り方		講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験 授業参加度			
受講上の注意					
使用図書(テキスト)		図書名: 系統看護学講座 看護管理		出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		図書名:		出版元	
使用予定の視聴覚機器		パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ( DVD )			

科目No.	配当時期 3 年前期		担当者 高梨 早苗	
科目名(单元名) 看護研究 (研究概説)	単位数 1 単位 (30時間中)	時間数 20時間		
テーマと授業目標 看護研究の意義を理解し、看護研究を科学的・系統的に行う方法の基礎を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	高梨	オリエンテーション 看護研究とは	講義
2	2	高梨	研究のプロセスとリサーチクエスチョン①	講義
3	2	高梨	文献レビュー①	講義
4	2	高梨	文献レビュー②	講義
5	2	高梨	リサーチクエスチョン②	講義
6	2	高梨	研究の種類と特徴	講義
7	2	高梨	研究デザインと分析①	講義
8	2	高梨	研究デザインと分析②	講義
9	2	高梨	研究における倫理的配慮	講義
10	2	高梨	研究計画書の書き方	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		課題30% 終講試験70% (45点配点)		
科目アピールポイント		研究は疑問を持つことから始まります。一緒に疑問を解決する方法を考えていきましょう。疑問に向き合うためには、主体的な行動が必要です。授業も主体的に参加しましょう。		
使用図書(テキスト) 図書名: 別巻 看護研究		出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名:		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他( 書画カメラ				

科目名(単元名) 看護研究		配当時期 3年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者 森 明広	
テーマと授業目標 看護研究の意義を理解し、看護研究を科学的・系統的に行う方法の基礎を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	看護をまとめる (パソコンを用いて実習資料からのフォーマット用紙への入力)	演習
2	2	森	看護をまとめる (パソコンを用いて実習資料からのフォーマット用紙への入力)	演習
3	2	森	看護をまとめる (パソコンを用いて実習資料からのフォーマット用紙への入力)	演習
4	2	森	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	演習
5	2	森	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	演習
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 100点		
受講上の注意		難しくとらえず、身近な疑問から研究はスタートします。授業時間内に課題を出します。該当テーマに関する内容を、授業前に一読してきてください。学生の主体的な授業への参加を求めます。		
使用図書(テキスト) 図書名: 川村佐和子編 ナーシンググラフィカ基礎看護学④看護研究		出版元 メディカ出版		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 文献レビューの基本		出版元 医歯薬出版株式会社		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他 ( )				

科目名(单元名) 臨床看護の実践 I	配当時期 2年後期		担当者 藤田 和代 小牟田 淑子 俵内 晃子 坂口 真紀子 藤原 綾子 藪本 喜代	
	単位数 1単位(30時間)	時間数 30時間		
<b>テーマと授業目標</b> 1. 原理原則を踏まえつつ、状況や場を考慮し、対象者に応じた看護技術を安全・安楽に実践できる 1) 対象者の状況から速やかにアセスメントし、その状況に応じた看護援助を見出すことができる 2) 対象者の状況を速やかにアセスメントし、対象者の安全を護る看護援助を実践することができる				
<b>授業回数</b>	<b>時間</b>	<b>講師</b>	<b>授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)</b>	<b>授業方法</b>
1	2	藤田	事例患者(術後第一歩行)に添った計画立案	講義・演習
2	2	藤田	第一歩行の実施	講義・演習
3	1	藤田	デモスト	演習
4	2	小牟田	精神障害のある対象の環境とコミュニケーションについての援助を学ぶ	講義
5	2	小牟田	抗精神病薬の有害反応についての観察と情報収集について学ぶ	講義
6	1	小牟田	技術試験のオリエンテーション	演習
7	2	俵内	サークルベッドの環境について 採尿・バイタルサイン測定・シーネ固定・バギー	演習
8	2	俵内	演習後のリフレクション 計画の修正	講義・演習
9	1	俵内	計画立案・実践についてのデモンストレーション	講義・演習
10	2	坂口	事例紹介 新生児の観察 アセスメントの視点 計画立案	講義
11	3	坂口	褥婦の看護 新生児の看護 (進行性変化、対向性変化、育児技術)	講義・演習
12	2	藤原	在宅看護実習室で、居宅を想定したセッティングで入室方法や コミュニケーション、バイタルサインを行うための演習	講義・演習
13	2	藤原	在宅看護実習室で 対象者のトイレ誘導の演習	講義・演習
14	1	藤原	技術試験についての説明	講義
15	5	藪本	技術試験	試験
<b>評価方法</b>		技術試験(80点)筆記試験(20点)		
<b>受講上の注意</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの既習の知識として解剖生理学・病態生理・検査・治療を統合できるようにする</li> <li>・その場の状況を予測し、対象者に必要な看護を主体的に学ぶ</li> <li>・実践後のリフレクションによって、課題を見出し、次の計画を考え実践できるようにする</li> <li>・シミュレーションなどでは、実際の場面を想定しながら取り組むように</li> <li>・グループワークなどを行う場合、お互いに協力し意見を尊重しましょう</li> </ul>				
<b>使用図書(テキスト)</b>		<b>出版元</b>		
図書名: 臨床看護総論 解剖生理学 病理学		医学書院		
各系統別看護テキスト 看護学概論 基礎看護技術				
<b>参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)</b>		<b>出版元</b>		
図書名: 目で見る体のメカニズム		医学書院		
<b>使用予定の視聴覚機器</b>				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ( )				

科目名(単元名) 臨床看護の実践Ⅱ	配当時期	3年前期			担当者  藤原 綾子	
	単位数	1単位				
	時間数	30時間				
テーマと授業目標						
1.多重の情報から状況を推察・推論し、臨床判断能力を養う。						
1)夜間実習の演習 2)日勤帯での複数受け持ち、チームナーシングの演習						
1)2)を通して、患者の状況や場を観察し、						
①多角的にアセスメントする。②アセスメント内容を実践し、内容をもとに振り返る						
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)			授業方法
1	2	藤原	ガイダンス			講義
2	2	藤原	対象理解・学習内容の発表 1			講義 グループワーク
3	2	藤原	対象理解・学習内容の発表 2			講義 グループワーク
4	2	藤原	対象理解・学習内容の発表 3			講義 グループワーク
5	2	藤原	対象理解・学習内容の発表 4			講義 グループワーク
6	2	藤原	チームで検討 1			グループワーク
7	2	藤原	チームで検討 2			グループワーク
8	2	藤原	チームで検討 3			グループワーク
9	2	藤原	日勤帯 複数受け持ち及びチームナーシング 1			講義・演習
10	2	藤原	日勤帯 複数受け持ち及びチームナーシング 2			講義・演習
11	2	藤原	リフレクション			講義・演習
12	2	藤原	夜間演習に向けて チームディスカッション			グループワーク
13	2	藤原	夜間帯 複数受け持ち及びチームナーシング			講義・演習
14	2	藤原	夜間帯 複数受け持ち及びチームナーシング			講義・演習
15	2	藤原	リフレクション			講義・演習
評価方法		課題評価				
受講上の注意		1. A4サイズの紙ファイルを準備してください 2. 課題学習が多くなりますので、提示された課題は必ず学習してください 3. 提示されている課題の提出期限を守ってください 遅れた場合は、減点となります 4. 実習につなげられるように、わからないことは積極的に質問して学びましょう				
使用図書(テキスト)		出版元				
図書名: 1. 系統別看護学講座 専門 看護管理		医学書院				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元				
図書名:						
使用予定の視聴覚機器						
(パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ						
その他( )						